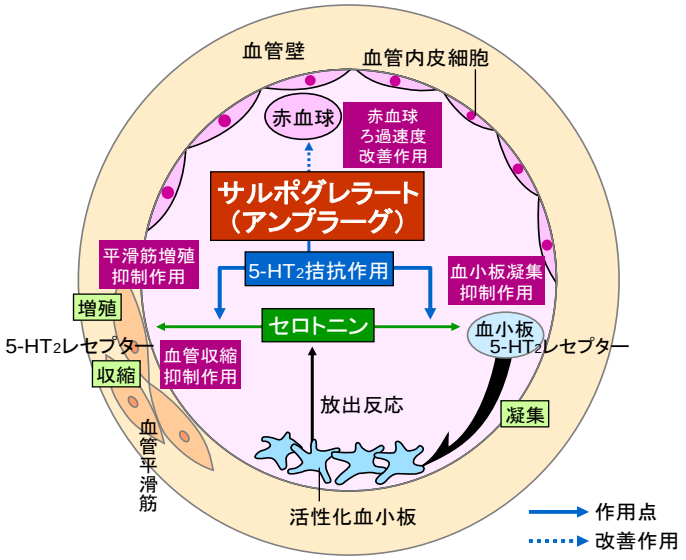
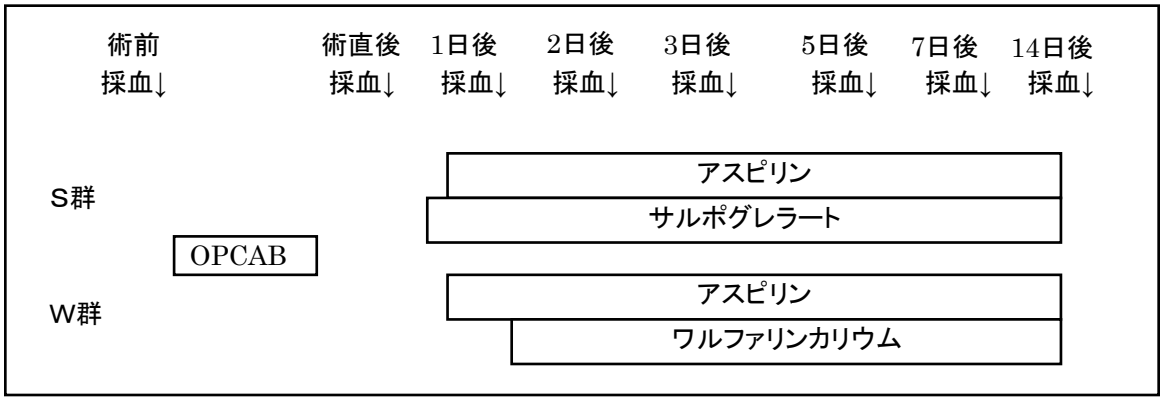
Off-pump coronary artery bypass grafting（OPCAB）施行後のサルポグレラートの血栓予防効果に関する検討

外科学第二講座　講師　中村　雅則

冠動脈バイパス術においては、人工心肺を用いないOPCABが一般的になり、術中脳梗塞の発生頻度は低下した。しかし、人工心肺を使用しないこと、ヘパリンの量が減ったことを背景に、手術ストレスによる術後の血液凝固亢進に起因する脳梗塞が顕在化してきた。血小板活性化は凝固亢進の前段階と考えられ、抗血小板薬は凝固予防に働くことが推察されるが、OPCAB後の凝固線溶系に対して抗血小板薬が影響を与えることを明らかにした報告はない。サルポグレラートは血小板の活性化に伴って放出されるセロトニンの受容体を拮抗することにより、血小板の活性化および血管収縮を抑制する抗血小板薬であり、OPCAB後の過凝固を抑制するか凝固線溶系に対する影響をワルファリンカリウムと比較検討する。

アンプラーグの作用点





中村雅則＜ masanori@sapmed.ac.jp ＞